



月刊 高齢者見守りサービス最前線レポート
みまもりプレス

15.OCT.2020
10月15日号

通巻040号

■発行所／(株)びゅーすまいる編集舗・みまもりプレス編集部 〒116-0001 東京都荒川区町屋 2-2-15 Primera ODA 301号
■2020年10月15日発行号 ■TEL.03-6807-8287 FAX.03-6807-7317 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

Hamee

<https://hamic.ai/pocket/>

小学生向け見守りモバイル端末『Hamic POCKET』

「スマホデビュー前」の子どもたちへ「ネットリテラシー向上をサポート」

小学生向け見守りモバイル端末『Hamic POCKET（はみっくポケット）』が発売される。発表したのはクラウド型ECプラットフォーム『ネクストエンジン』を提供するHamee（ハミィ／神奈川県小田原市）。本格的な「スマホデビュー前」の小学生のネットリテラシー向上をサポートする『プレスマホ』として、2021年1月からオンラインショップにて発売される予定。現在、「無料モニター1,000人」を募集するキャンペーンがスタートしている。

新製品『Hamic POCKET』の特徴は、GPSによる「現在地の居場所の見守り」に加えて、子どもが家族や友だちとどんなやりとりをしているのか『Hamic アプリ』を通じて見守ることができるほか、『Google ファミリーリンク』を活用して、アプリのインストール管理、利用時間制限、Webやアプリの利用状況のモニタリング、有害コンテンツへのアクセス制御（フィルタリング）など



ができる。もちろん『Hamic アプリ』によって、音声通話やメッセージのやりとりも可能。

「子どもと常に連絡をとれるように携帯電話を持たせておきたいけれど、SNSトラブルやアプリの高額課金、ゲームや動画依存など、本格的なスマホを持たせるには不安が絶えない……このような課題を感じている保護者の方は多いのではないのでしょうか。こうした問題を解決するために、キッズケータイ

とスマホのいいとこどりをし、親の安心と子どもの楽しいを両方叶えたプレスマホ『Hamic POCKET』を開発いたしました——」（Hamee）

本体価格は1万5,000円（税別）。月額基本料金は『ベーシックプラン（データ通信1GB付）』で1,000円（税別）となっていて、「200MB（200円）、500MB（500円）、1GB（800円）」などの『追加チケット』も用意されているとのこと。

**シニアが元気になると
日本が元気になる！**

**元気シニア倶楽部
会員募集中!!**

——入会費・年会費なし——

一般社団法人

日本元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



認知症を考える

介護事業支援

赤ちゃん型ロボットで触れ合い検証

介護施設で『かまってひろちゃん』使い長期間実験をスタート

国際電気通信基礎技術研究所（京都府相楽郡）とヴイストーン（大阪市西淀川区）によって共同開発された赤ちゃん型ロボット『かまってひろちゃん』を使った触れ合い効果の実証実験が、介護施設でスタートした。

この実験は、先の2社とともに隆生福祉会（社会福祉法人／大阪市東住吉区）、科学技術振興機構（独立行政法人／埼玉県川口市）によって実施されるもので、『ひろちゃん』との触れ合いが認知症高齢者（要介護者）とその介護者に及ぼす効果を検証する長期的な試みになるという。（実験期間：2020年10月下旬より、6ヵ月を予定）

実験の内容としては、要介護者が赤ちゃんをあやす行為を『ひろちゃん』で疑似体験することで、生きがい作りや癒しの効果があるか、介護者の負担を軽減できるか、長期間の運用実験を通して検証を行う。

今後は、この実験のレポートや、『ひろちゃん』を使った介護レクリエーションの方法を紹介する、Webサイト（ひろちゃんコミュニティサイト）が開設され、情報発信が実施されるとともに「コロナ禍で孤立しがちな高齢者施設の社会的な繋

がり」を支援していきます——」としている。

『ひろちゃん』のように要介護者に働きかけるロボットは「インタラクティブドール」と呼ばれ、そのセラピー効果を検証することで、要介護者と介護者を支援する新たな産業分野「インタラクティブドールセラピー」分野の創出も念頭においている。



<https://www.vstone.co.jp>

会食時の飛沫をガード『フィンガーマスク』発売

「会話の際にさりげないエチケットを——」：HAPPY JOINT



「コロナ禍の中、居酒屋等でのクラスターが発生し、お客様の来店自粛が目立つように」。飲食店は行政の要請に応じ、各店が換気、入店時の消毒、パネルの設置等の涙ぐましい努力をしています」として、同社では「お客様側にも『他人に感染させたくない』という気持ちがあれば今後もクラスター発生の確率は高くなります」とし、この『フィンガーマスク』の必要性を提案している。

特にマスクを外した会食時、会話の際に『フィンガーマスク』をあてることで飛沫を防ぐエチケットにもなる。「人差し指」に装着しながらも、お箸やグラスを持つときに邪魔にならないような工夫も施されている。

オリジナルグッズ制作を展開するHAPPY JOINT（名古屋市中西区）では、飛沫感染を防ぐ簡易シールド『フィンガーマスク』の販売を開始した。

<https://www.g-mark.org/award/describe/51115>

アイデアの**商品化**を推進する
身近な**発明展**

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす

一般社団法人**発明学会**

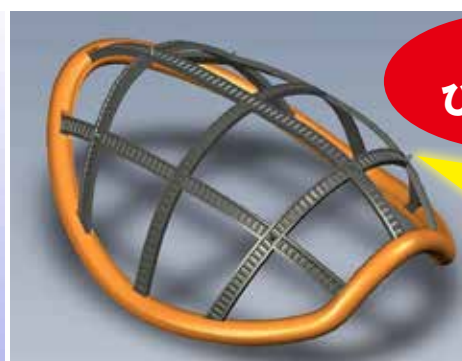
<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第39回 マスクを付けた時の息苦しさや付着感を解消！

『ブレスキープ』



ここに
ひと工夫!!

ズレ防止 突起



◎発明者の山口敬治さん



クラウドファンディングに
挑戦します！
10月26日（月）～12月28日（月）

建設関係の仕事をしている、山口敬治さん。コロナウイルスの感染拡大に伴い、現場でもマスクをしなければいけない風潮になったのですが、ここで大問題！呼吸が荒くなる現場での作業中、その

呼吸にマスクが呼吸して苦しいし、暑い！とても付けていけないのです。見渡せば、現場の仲間には皆マスクをあごに移して作業するありさま。この様子を見てひらめいた山口さん。工事に使う結束バ

ンドを切り、網状にして、マスク内の空間を確保するものを試作しました。早速試したところこれが全く苦しくない！現場の仲間にも試作品を使ってもらったら、大好評。「商品化したら、もっと多

くの人のよるこばれるのは・・・」との思いから、発明学会の門をたたきました。発明学会では、出願のアドバイスのほか、ご自身で作って売っていきたいという希望から、中国で安く量産してくれる発明学会とつながりがあるメーカーを紹介。メーカーと共同で開発をスタートし、マスクがずれないように突起なども取り入れながら、このたびようやく量産が完了し、販売をはじめることになりました。

マスクを付けた時の息苦しさや付着感を解放し、楽に呼吸が出来るようにした網体には、肌に当たる部分にはシリコンと、マスクのずれ防止の突起を網体表面につけました。市販の紙マスクや3Dマスク、手作りの布マスクなど、全てのマスクに使用できます。マスク内側に使用するため、使用時は目立ちません。首から下げられるストラップが付属しており、マスクを外した時はマスクホルダーとしても使用可能。水洗いもできて衛生的です。



無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ入門」(希望者は下記まで)

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで
東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル
☎ 03 (5366) 8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp

今回、クラウドファンディングに挑戦し、大々的に販売をスタートすることになりました。コロナウイルスのせいで、マスクの苦しさにあえぐ、世の人の救世主となりそうなお品です。

(松野泰明)

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレン・モンジュ・林野 均の「シニア`萬、遊記」第37回

コロナウイルス感染予防にも口腔ケアが有効か

——「訪問歯科を利用する」という選択肢も——

新型コロナウイルスの感染が始めた頃、感染が怖くて病院を受診する人が減りました。健康診断の受診数も減ったようで、今年の1月から9月までの健康診断の受診者数は昨年と比べて30%減少したようです。これは歯科医にも同様の傾向があり、歯科受診も減ったようです。

コロナ感染の対策としてマスクがありますが、歯科治療では当然マスクが着けられません。私自身も歯科治療に通っており、危険性が気になっていましたので、調べて見ました。

人の免疫システムは、病気を未然に防いでくれたり、軽く済ませてくれたりします。免疫力を優位にしておく方法の1つが、「口腔ケア」です。口の中には、細菌が沢山います。常在細菌といって、体

を守る働きを示すものもありますが、悪さをする細菌もあります。この悪さをする細菌やウイルスを減らすことが大切です。細菌の塊であるプラークは、歯磨きをしないと落とすことができません。

そして口の中には、もう1つ細菌の塊があります。それは舌の表面についた舌苔^{ぜったい}です。これらの細菌を口腔ケアにより減らすことで、口腔の免疫が十分に働くことができるようになるそうです。

新型コロナウイルス感染症が、世界中で蔓延し多くの人を苦しめています。ワクチンや治療薬の開発が進んでいますが、まだ完成していません。歯磨きなどの口腔ケアは、インフルエンザへの感染リスクを下げる

ことが分かっています。この経験は大切であり、口腔ケアは新型コロナウイルス感染症対策としての有効性もありそうです。少なくとも、歯科医院でコロナに感染したとの報告は今のところないようです。

歯科医院になかなか行けないという場合には歯科医に自宅や施設に来てもらう、「訪問歯科」という方法もあるようです。一つの選択肢として検討する価値はあるように思います。



※画像はイメージです。

Author／林野 均 (はやしの ひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表／一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310

子供のみまもり

「緊急通報アプリ」ツータッチでビデオ通話へ

24時間365日、見守りコンシェルジュとつながり：KKO

スマホアプリ運営サービスを手がけるKKO（埼玉県上尾市）では、緊急通報アプリ『VIDEO ツーホー』のiOS版をリリースした。（Android版は既にリリース）『VIDEO ツーホー』はスマホの「緊急通報アプリ」。24時間365日、アプリを開いてから「ツータッチ」でオペレーションセンターへビデオ通話で繋がるというもの。オペレーションセンターでは、通報者から「警察・救急の要請」があった場合や、ビデオ通話で状態や状況などを判断し警察・救急に代理通報してくれるという。

通報時のビデオ通話は自動録画され、一定期間保存。依頼があった場合はデータ提供も可能としている。また、通報があった際には「GPS」

によって利用者の位置情報を表示。ビデオ通話中でも約10秒ごとに位置情報が更新されるという。通報時の位置情報はビデオ通話同様に自動的に保存される。さらに、通報と同時に、緊急連絡先に登録された電話

番号に、通報日時・通報時の位置情報などがSMSで自動送信されるというしくみ。（SMS送信は10月9日より）アプリ本体は無料。その他費用は「アプリ内課金」として月額980円（税込）が必要となる。


<https://www.video-tsuho.com/>

『エアバッグ』で転倒の衝撃軽減を

『コロバンエアバッグ』見守りアプリで装着者の位置情報も：Spirit of Wonde

また、専用の「見守りアプリ」を使用することで、装着者の位置情報や転倒時の状況などがスマホで確認ができるという。販売定価は9万9800円（税別）で、同社通販サイト、Yahoo!ショッピングなどから販売し、今後取扱先を拡大していく予定とする。また、エアバッグの再利用のための再生費用は「2万円（税別）」とのこと。

スプリットオープンワンドー（東京都杉並区）では、腰に装着した「エアバッグ」で転倒による衝撃を大幅に軽減させるという「コロバンエアバッグ」を発売した。（9月29日より）センサーが転倒を検知して、エアバッグが「0.18秒」で開くという。同社によれば「転倒の衝撃を90%軽減」とのこと。また「製品化は世界初で、特許、CEマークを取得済み」としている。エアバッグは何度でも再生が可能だという。（再生は有償となる）


<https://spow.co.jp>
さがし愛・見守りセット
介護保険適用

ビーコンが、在室・外出・徘徊を検知、アラートでご家族に知らせます。



◎TAISコード：01717-000002
◎分類：徘徊老人監視システム
◎希望小売価格：¥150,000

製造：株式会社サンコウ電子
販売：さがし愛ネット合同会社

東京都千代田区外神田 2-12-6
ホリビル 3F

<http://www.sagashi-ai.net>

安心のビーコン見守り

介護施設・無料モニター募集中！

- ・デイサービスご利用者などに簡単に体験して頂けます。
- ・受信機を置くだけで安心の見守りシステムができます。
- ・設置料・通信費などのご負担は一切ありません。



※地域ごとにモニター募集期間を設けます。詳しくは下記まで。

フリーダイヤル

0120-966-696

メール

contact@sagashi-ai.net

体重や尿量などを自動で記録し アプリでデータ管理

RABO

いつものトイレで「愛猫の健康見守り」

「いつものトイレで猫様の体重と尿量・回数を自動で記録する——」という新製品、『Catlog Board』が発表された(RABO/東京都渋谷区)。

『Catlog(キャットログ)』は、「世界中の猫と飼い主が、1秒でも長く一緒にいられるように猫の生活をテクノロジーで見守る——」というIoTプロダクトで、2019年9月に「留守中の猫様を見守る首輪型デバイス——」として発売され、SNSやメディアで話題となった。

今回発表された『Catlog Board(キャットログボード)』はその「第二弾」となるプロダクトで、愛猫がいつも使っているトイレの下に置くだけで、「体重」や「尿量」など排泄物の量やトイレの回数を自動で記録し、専用の『Catlogアプリ』でデータを管理できる

というもの。

多頭飼いの場合でも、首輪型デバイス『Catlog』を使うことで、それぞれの個体別のデータ管理もできるとする。

ボード本体の電源は市販の乾電池や充電電池を使い「完全

コードレス化」を実現。コンセント場所の確保や、愛猫がコードにじゃれつくような心配もなく安心。

現在、クラウドファンディング『Makuake』で先行予約を受付中。



Catlog Board

お使いのトイレはそのまま、猫様の体重と排泄情報を自動で記録。

トイレの利用を検知して重量を計測

アプリで分かりやすく表示
変化があればお知らせ

計測データは自動送信

体重の推移・排泄物の量

トイレ回数

https://www.makuake.com/project/catlog_board/

『栄養睡眠改善トレーナー』認定資格を取得して、 あなたも活躍してみませんか？

眠りと食事で毎日げんき！



一般
社団法人

日本栄養睡眠改善協会

The Japan Association for Better Sleep and Nourishment

